

2019年1月21日

電通と CCI、Google Marketing Platform を活用し、 都内で OOH 広告の自動的な広告売買・配信の実証実験を開始

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）と株式会社サイバー・コミュニケーションズ（本社：東京都中央区、社長：新澤 明男、略称「CCI」）は、OOH（屋外／交通）広告における新たな取り組みとして、グーグルが提供する Google Marketing Platform^{※1} を活用し、都内の屋外・主要駅のデジタルサイネージ合計 274 面^{※2} の自動的な広告売買・配信の実証実験を開始しました。

従来 OOH 広告においては、それぞれの媒体を所有している個別媒体社との広告枠の購入交渉が必要であり、また広告原稿の配信も媒体社ごとに行っていました。今回の実証実験では、Google Display & Video 360^{※3} と Google Ad Manager^{※4} を連動させることにより、広告枠の購入・配信などが自動的、一元的に管理できる仕組みを OOH 広告でも実現させます。

広告主にとっては、現在活用している Google Marketing Platform 上で、デジタル広告と OOH 広告両方の買い付けが可能となるため、ワークフローの効率化や予算の一元管理化といった点がメリットとなります。

今後も当社は OOH 広告ビジネスのデジタル化や効率化に取り組むことで、OOH 広告とデジタル広告の連携強化を図ってまいります。

※1 Google Marketing Platform :

デジタルメディアやカスタマーエクスペリエンスのプランニングから購入、測定、最適化までを統合的に行える広告／分析プラットフォーム。

※2 今回の掲出面は以下の媒体社が管理する媒体となります。

- ・株式会社パス・コミュニケーションズ（渋谷 109 フォーラムビジョン、原宿表参道ビジョン）
- ・株式会社パルコ（池袋パルコビジョン）
- ・三井不動産株式会社（新宿 M-SQUARE ビジョン）
- ・株式会社スタジオアルタ（新宿アルタビジョン）
- ・有限会社サーチ（新橋 LIVE DAM STADIUM VISION）
- ・株式会社メトロアドエージェンシー（東京メトロ主要駅デジタルサイネージ 263 面）
- ・株式会社京王エージェンシー（京王井の頭線 吉祥寺駅デジタルサイネージ 5 面）

媒体社への配信システムは、株式会社ニッポンダイナミックシステムズが協力しています。

※3 Google Display & Video 360 :

キャンペーンのプランニングからクリエイティブのデザインと管理、オーディエンスデータの整理と活用、広告枠の検索と購入、キャンペーンの測定と最適化までの作業がワンストップで行える広告主／広告会社向けのプラットフォーム。

※4 Google Ad Manager :

ウェブサイト、モバイル ウェブページ、モバイルアプリ、ゲーム、またはその組み合わせなど、対象を問わず広告配信を効率的に管理することのできる媒体社向け統合広告配信プラットフォーム。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部
溪、長澤 TEL : 03-6216-8041